

平成22年7月13日定例経営会議（要約）

（平成22年7月13日 午前9時00分～10時50分）

新たな創造 変化に対応

I 開会 ～ 市長あいさつ

- ・一昨日の参議院選挙の投開票事務については、各部の職員に従事いただき無事に終了することができた。大変ご苦勞様であった。選挙管理委員会ははじめ関係者に感謝申し上げる。東京都での投票率が58.7%であったのと比較し、当市では61.44%で3ポイント近く高かった。当市の市民は比較的選挙への関心が高いと思う。参議院選挙の結果、再びねじれ国会となったことにより、特に法案の成立について今後非常に見通しづらくなる。以前、自公政権のときに、参議院と衆議院がねじれた状態になり、平成20年度当初で暫定税率が廃止され、当市は、久米川駅北口広場整備事業を一時中断せざるを得なかったという苦い経験を有する。そういう意味で、予算については衆議院で通ったとしても、関連する法案の成立がどうなるかは非常に不透明である。これから国は税制改正、財政再建を見通した中で23年度予算を編成するという流れになるが、先行きが不透明な中で当市も予算を編成しなければならない。国の動向が今後どうなるか、これまで以上にアンテナを高くして情報を得る必要がある。ただし、あまり国に頼り過ぎるのもよくない。そういう意味で、当市の本当の自治力、我々の力が試される時代になってきていると思う。やはり市としての核を持って臨む、国の動向の把握に努めながらも、「国がどうあれ当市はこうする」という信念と核を持って、市政運営に当たることがこれまで以上に求められる。各部長もいろいろな折に課長や一般職員に督励し、国の通達等を鵜呑みにするのではなく、自分たちで消化し、事業実施後も継続していくことができるかどうかを考えながら仕事に当たっていただくようお願いしたい。
- ・6月26日に、初めて多磨全生園でタウンミーティングを開催した。次のような地域の課題について数多く出された。
 - ・現在進められている東京都施工の都市計画道路3・4・11号線は、いつまでに延伸されて最終的な形態になるのか。
 - ・所沢街道と都道226号線が交わる全生園の交差点に右折レーンを設けてほしい。
 - ・青葉町商店会にグリーンバスが通る道路は、舗装の傷みがひどく振動が激しいので早期に直してほしい。
 - ・青葉通りの青葉小学校前の交通安全対策を真剣にやってほしい。

当該地は、市も知らないうちに警察がスクールゾーンの指定を外した経過があり、「その時に、市は『安全対策をしっかりとやる』と言っておきながら一向にやっていない」というお叱りや、「車両の制限速度をもっと引き下げられないか」という意見

をいただいた。これらの件については、早速、関係する所管で横断的に対応いただき、青葉小学校敷地に隅切りを設けることや、車両の走行速度を下げる方策等、できるだけの善処をお願いします。

- 学童クラブの建て替えをしているが、職員体制について、正職員が減ることを心配している。
- 発達障害の児童をお持ちの保護者の方々より、「「保育園・幼稚園から小学校に上がる際の移行支援をきちんとやってほしい。」「5歳児検診を実施してほしい。」「学校の受け入れ支援をより強化してほしい。担任が替わる度に同じことを何度も始めから説明しなければならず非常に苦勞が多い。もう少し学校の理解がほしい。」「発達障害について、広く市民の皆さんを含めて認識を持ってほしい。若竹学級はどのようなものか広く啓発してほしい。」といった意見をいただいた。
- 市内の幼稚園の情報が保育園に比べて不足している。市からも各園がどのような幼児教育をしているのか周知してほしい。
- 空堀川について、青葉町流域はしばしば空堀状態になるので、何とか流量の確保ができないか。
- 親御さんの障害支援費が全く足りていない。医療施設ではなく自宅で生きていくために、さらに支援をいただけないか。
- 様々な公的会議の場で要約筆記を導入していただきありがたい。しかし、まだまだ導入・活用していただきたい場があるので、周知してほしい。

等々の意見があった。各所管部課において、できるだけの対応をお願いします。

- 6月29日には40mmほどの大雨が降り、防災安全課、都市環境部の皆さんにはお世話になった。床下浸水が何箇所かあった。大雨が降るとほぼ同じ箇所に被害が出るので、今後その対策を講じなければならない。
- 7月4日、福生市の市制施行40周年の行事があった。記念の映画を撮ったり、いろいろな記念事業を実施したりしているが、今年40周年を迎える市は清瀬市や東久留米市を含め多摩地域で6市あり、今回、うち5市が共同でイベントを実施するという取り組みをしているそうである。当市も今年は市制施行から46年であるが、このような動きを踏まえつつ、そろそろ50周年に向けてどのようなことをするか、いつごろから検討するか等について徐々に考えていく必要があると考えている。
- 7月6日に市長会の建設部会があった。東京都への要望事項を提出するのだが、その中で問題となっている用途地域等の都市計画決定の権限について、今回の地方分権改革・地域主権改革の中で、都道府県から区市町村へ権限移譲するという動きもある。用途地域等の都市計画決定の権限をもらうことありがたいが、どう整理しまとめ実施していくか、いろいろな課題がある。そこで、「今後、市長会の建設部会を中心に検討したら如何か」という提案を私からさせていただいた。国や東京都の動きを見ながら、用途地域等都市計画決定の問題については、市長会でも継続して検討させていただきたい。

- ・ 7月8日・9日でハンセン病療養所所在市町村連絡協議会の総会が熊本県合志市でおこなわれ、経営政策部の皆さんと出張した。今回は、地元の国会議員と意見交換をすることができたへん有意義であった。各自治体の首長・議長からも、ぜひそれぞれの国会議員懇談会と協議したいと申し入れもあった。民主党、自民党ともハンセン病に関する議員懇談会を設置しているが、今後、秋口あたりを目途に実現できるようにしたいと思っている。
- ・ 7月から第2四半期に入った。年度当初は人事異動等もあって落ち着かない部署もあったかと思うが、もう一度、本年度の各部課の課題がどの程度整理されているかの進捗度合いを部長からも見ていただきたい。補強しなければならない点は補強する、発破をかけねばならない点はかけるようお願いする。
- ・ 昨日、新入職員研修を開催し、市政アドバイザーである増島先生にご講義をいただいた。管理職も何人か出席してくれた。「組織とは平均人・平凡な人間で構成しているものであり、誰でも行える仕組みをつくる体制を整えることが大切」とのお話をいただいた。これからの大量退職・人事異動に向けて、きちんと事務引継ぎができるように、各部・各課・各係・各担当で業務マニュアルや引継書の再確認をしていただき、遺漏の無いようお願いする。

II 協議事項

(1) 平成23年度及び24年度の職員体制について

- 7月2日に開かれた、第1回検討会議における検討経過を報告した。
- ・ 23年、24年の大量退職、これに伴う人員配置の影響による組織力の低下のおそれへの対応、制度の見直し等が検討事項となっている。
- ・ 課題は3つある。①選考試験 ②組織上のポスト数 ③再任用・再雇用
基本的な考え方を経営会議で論議できるところまで詰める。

(2) 組織活性化のしくみづくりについて

- 各課から出た意見を各部で3つほど選んで、大きな課題と思われることを拾い上げる
ことについて、各部から報告した。
- ・ それぞれの所管でやっていくものと、仕組みとして見直したりつくったりしなければ
ならないものがある。
- ・ 少数の中での人事異動のあり方として、一定のスペシャリストを養成しなければなら
ないが、入所して係長になるまでの間はジェネラリストを養成するといったジョブローテ

ーションの年代別のモデルを考える等、アイデアを提起するよう論議する。

本日出された意見を整理し、今年度やるものを出し、そのために何が必要で何をするかを次回の経営会議で論議する。本日は、各部から報告と理事者の意見をいただき、次回の整理に向けて進めることを集約とする。また、この機会に、各部・各課・各係でどのレベルでどのような業務マニュアルを作成しているのか、どれくらい機能しているのか、全庁的に調査する。

(3) 審議会運営の流れについて

○前回の経営会議で、審議会の資料の取り扱いについて論議し、4点の原則化を集約したところであるが、その他の課題として審議会の流れ、特にパブリックコメントについて議論する。

- ・計画策定を有する審議会について、各所管でパブリックコメントの取り扱い及び実施の状況についての調査結果を報告した。
- ・計画策定を有する審議会では、すべての審議会、計画策定過程でおこなっている。
- ・パブコメをどの時点でおこなっているかについては、答申前も答申後も両方ある。
- ・「一度審議会に提出について市長から委員会に諮問」→「それについて答申をもらい」→「それを市の考えとして計画案を立てて」→「パブコメをおこなう」という流れがある。
- ・答申前については、審議会の答申に当たりパブコメで市民の意見を聞いておくべき部分を答申前におこない審議会としての答申に反映しているものもある。
- ・答申をもらう前に策定の基本的な考え方をどうするか、局面ごとにおこなっている。ある程度統一した方がいいだろうが、運用上、あまり縛るのもどうか。どの程度反映するものか、できるものなのか、時々によってかなり違う。
- ・審議会から答申いただく以上は、審議会へ報告するべきであるということが各部長の共通の見解である。

審議会におけるパブリックコメントの流れを統一する必要があるかどうかについて、この論議としては、統一する必要はさほどなく状況や内容によって実施のタイミングが違うので概ね合わせておくこととし、できるだけ審議会へ報告するよう努めると集約する。

Ⅲ 報告事項

(1) 総合震災訓練の実施について

8月29日午前10時から南台小学校で、今年度の総合震災訓練を実施する。昨年同様、地域住民が主体となり関係機関との連携による総合震災訓練である。

また、7月24日には夜間震災訓練を実施する。今年は、地域防災訓練として萩山町を中心に萩山小学校で実施するが、萩山町地域の皆さんが実行委員会をつくり進めている。消防署、消防団のほか、防災安全課が参加する。

(2) 市長と職員の昼食会について

7月21日(水) 11時30分から実施する。

(3) 市議会9月定例会提出予定案件・所信表明事項について

各部からの提出予定案件、所信表明事項を確認、集約する。

(4) その他

- ・インディペンデンス市からの学生訪問団が本日夕方東村山市に到着する。今回は、引率の大人が3名、15～18歳の学生が9名の計12名、全員が女性である。7月27日までの2週間、例年のおりホームステイする。その間に姉妹校の回田小学校のほか、第二中学校、久米川幼稚園を訪れ教育交流をおこなう。また、市内文化施設巡りや日光等へ行く。一行は7月27日に帰国するが、その帰りの便に合わせ、東村山市から8名の学生が2中の先生の引率のもと、インディペンデンス市への訪問ために出国する。これも2週間の予定である。
- ・7月27日から8月1日にかけて、川上議長を団長、鈴木副議長を副団長とした議員団が、日中友好交流都市の蘇州市を訪問する。議員とご家族を含め16名が蘇州市と上海万博等を訪れる。
- ・4月に実施した接遇アンケートの第2回を7月末の週に実施することを予定しているので協力をお願いする。継続的に実施していく。
- ・東村山市内には中学生の硬式野球クラブ「東村山リトルシニア」と「東村山ボーイズ」という2つのチームがある。今年、この2つのチームが地区予選を勝ち抜いて全国大会に出場するそうである。先日、表敬訪問いただいた。少年野球チームには頑張っていたきたい。

IV 閉会

以上